

摂南大学 全学フォーミュラプロジェクト

S-Racing

第11回全日本学生フォーミュラ大会

結果報告



大会期間：2013年9月3日（火）～7日（土）

大会会場：エコパ（小笠山総合運動公園・静岡県）

目次

2013年9月3日	大会受付、車両搬入、車両整備、デザイン審査	項 3
9月4日	販売戦略、コスト審査	3~4
9月5日	車検	5
9月6・7日	他大学様の情報収集	6
	最後に	6~7

大会参加者

プロジェクトメンバー (18名)

プロジェクトリーダー	馬 場 大 河 (経営学科2年)
サブプロジェクトリーダー	井 平 直 樹 (機械工学科3年)
学生トータルアドバイザー	森 岡 啓 人 (機械工学科4年)
シャーシ班リーダー	辻 田 直 輝 (機械工学科3年)
パワートレイン班リーダー	井 平 直 樹 (機械工学科3年)
内外装班リーダー	高 橋 隆 司 (電気電子学科3年)
電装リーダー	井 平 直 樹 (機械工学科3年)
メンバー	竹 中 重 盛 (機械工学科4年)
	五十嵐 也 人 (機械工学科3年)
	小 野 稜 太 (機械工学科3年)
	佐 野 貴 彦 (機械工学科3年)
	里 将 太 (機械工学科2年)
	高 橋 颯 志 (機械工学科2年)
	徳 増 佑 太 (機械工学科2年)
	飯 尾 将 貴 (機械工学科1年)
	奥 野 誓 也 (機械工学科1年)
	北 木 裕 梧 (機械工学科1年)
	竹 内 大 (機械工学科1年)
	天 神 林 佑 (機械工学科1年)
	水 野 修 平 (機械工学科1年)
	安 田 雄 太 (機械工学科1年)
ファカルティアドバイザー	堀 江 昌 朗 (理工学部准教授)
	丸 山 隆 三 (テクノセンター職員)
	小 川 直 樹 (テクノセンター職員)

2013年 9月3日（火） 大会初日

1 日目 大会受付、車両搬入、車両整備、デザイン審査

大会初日はゲートオープンと共に車両搬入を行い、車両の準備を行う予定でしたが、車両に不備が多かったため、話し合いの結果 1 度宿舎に戻り溶接などの作業を行うことに決定しました。今年度から事前書類の不備なしチームは優先して大会受付を行うことが出来たので、スムーズに大会会場での静的資料の準備などに取り掛かることが出来ました。大会初日の午後に車両を大会会場に再搬入し、デザイン審査を行うための準備として部品の組付けや取り回しなどを急ピッチで行いました。

しかしデザイン審査に部品組み付けの遅れから約 2 分遅れてしまいました。また車両自体に不十分な箇所が多く採点はするが、あくまで参考得点で大幅減点は免れないとのことでした。



左の写真は、実際のデザイン審査の様子です。

本年度はパネルの準備不足などで思ったような成績を残すことが出来ませんでした。

大会 2 日目 販売戦略

2 日目の朝から販売戦略プレゼンテーションの審査があり、プロジェクトリーダーの馬場と、サポート役として 1 年生の奥野が参加しました。

歴代の中で 1 番時間を掛けて新戦略などを考えだしましたが、延長コードの準備不足や担当者紹介を飛ばしてしまうなどの凡ミスをしてしまい、減点に

繋がりました。また、新戦略のアイデアや発表での態度などは評価していただきましたが、台本を書いたものの覚えるだけの時間がなく発表の時間が短くなってしまったことと裏づけのデータ不足が悔やまれました。しかし歴代最高順位が取れたことは素直に嬉しく、今後さらに上の順位を目指して行こうと思いました。



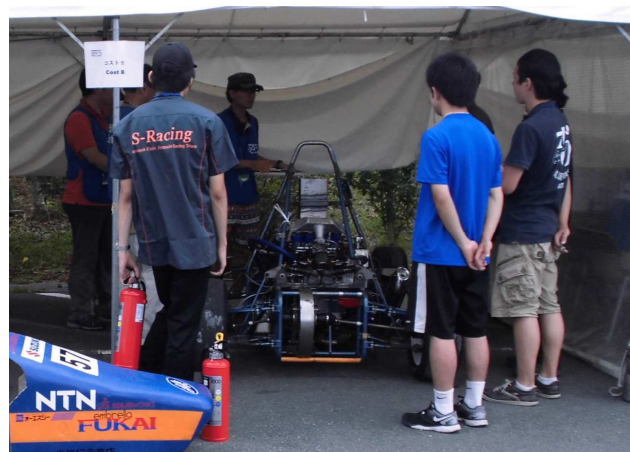
左の写真は実際に行った販売戦略プレゼンテーションの様子です。

大会 2 日目コスト審査

同じく 2 日目にあったコスト審査では、主にプロジェクトリーダーの馬場、サブプロジェクトリーダーの井平、内外装班リーダーの高橋が質問に対する応答を行いました。

本年度のコストレポートは製作に大半の時間を割いたため、修正すべき箇所は判明しているのに、修正する時間がなく、如何に今年度の自分の日程管理が甘かったかということを感じました。しかしリアルケースに関しては褒めて頂いた点も多く、来年度以降に繋がると確信出来ました。

右の写真はコストレポートの説明を受けている所です。



大会 3 日目車検

動的審査に進むために毎年車検に望んでいますが、今年度完走を目標としている *S-Racing* では 1 番の頑張りどころでした。

3 日目は多くのチームが動的審査に進んでいた事により、スムーズに受付を終えることが出来ました。しかし、私達の車両は多くの部品が欠損しており、さらにフレームに重大な欠陥部分があったため、車検を担当して頂いた本田様より、本年度の車体を、車検を受けなかったことにして来年度に 2 年目の車両として持ち込んでみてはどうかということを提案して頂きました。そこでメンバーと話し合い、今年度は涙をのんで「来年度のチームのためとなるならば」という結論に至り、車検自体を受けなかったという結果に終わりました。

今年 1 年間動的審査に進み、全種目完走を目標としていただけに、メンバーの残念そうな顔を見て、自分の力不足に不甲斐なさを覚えました。

下の写真は実際の車検の準備の様子です。



大会 4・5 日目他大学様の情報収集

私達のチームでは1年生が多く、来年度以降の車両開発のため、1年生を中心に多くの他大学様の車両を見学させていただきました。自分たちのチームの部品とどう違うのか、他大学様はどのようなことを考え、車両に反映しているのかなどを念入りにチェックしました。来年度は今までこのプロジェクトに関わってきた多くの先輩方が卒業されるので、他人に頼らず自分達だけで物事を解決できるようにしていこうと考えています。

最後に

スポンサー様へ

私達、摂南大学全学フォーミュラプロジェクト『*S-Racing*』にご支援いただき誠にありがとうございます。本年度が大会参加4年目となりましたが、4年連続で動的審査に進むことが出来ず、スポンサー様並びに弊チーム関係者様に残念な思いをさせてしまいとても心苦しい気持ちで一杯です。練習走行では例年の車両よりも格段に性能のアップが見られ、大会で走行させる事を楽しみとしていましたが、レギュレーションに合わせた部品の製作や、部品の取り付け位置に苦勞し、大会当日に車両を完成させることが出来ないという最悪の結果となってしまいました。しかし静的審査の販売戦略プレゼンテーションでは過去最高順位を記録し、またコストレポートに関しましても初年度に次ぐ好成績を収められた事は唯一の高判断材料でもありました。しっかりと今年度の大会で見えた、弊チームの長所と短所を理解し、適切な日程管理を行い来年度もメンバー一同頑張る所存ですので、今後とも何卒変わらぬご声援ご支援をよろしくお願い致します。

S-Racing 一同

スポンサー様一覧（順不同）

